

地球科学技術に関する 国際シンポジウム2010

日時: 2010年12月7日~8日

場所: 九州大学伊都キャンパス 稲盛国際ホール

九州大学工学研究院 佐々木 久郎、菅井 裕一

地球科学技術に関する国際的な連携を深めるための学術研究交流の場として、同分野に関連する国内外の17の大学および研究機関によって構成される「地球科学技術に関する国際連携ネットワーク (Cooperative International-Network for Earth Science and Technology, CINEST) (Chairmanは松井紀久男教授(九州大学))」が主催となって「International Symposium on Earth Science and Technology 2010」を開催しました。同国際シンポジウムでは119件(内G-COE学生発表28件)に及ぶ査読付論文提出および研究発表が行われ、地球科学技術に関する諸問題に関して活発な討議が行われました。とりわけ本シンポジウムでは、グローバルな視点に基づい

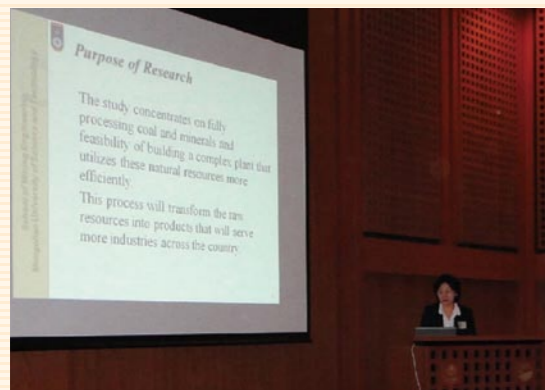
て地球科学技術分野における重要課題に取り組む研究者によるプレナリーレクチャー (Kevin H. GARDNER博士(The University of New Hampshire, USA)、Wisup BAE博士(Sejong University, KOREA))や九州大学G-COE「新炭素資源学」についての特別セッション等を開催し、若手研究者の研究意欲を啓蒙するとともに、若手研究者の査読付論文発表に対して優秀論文賞を12名(内G-COE学生発表4名、受賞者リスト参照)に授与するなど、若手研究者

に国際的な活躍の場を提供しました。G-COEの特別セッションでは、B. ALTANTUYA博士(Mongolian University of Science and Technology, MONGOLIA)、Rudy Sayoga GAUTAMA博士(Institute Technology of Bandung, INDONESIA)、Kreangkrai MANEINTR博士(King Mongkut's University of Technology North Bangkok, THAILAND)による講演が行われ、活発な質疑応答がなされました。

受賞者リスト

“Best Paper Award”

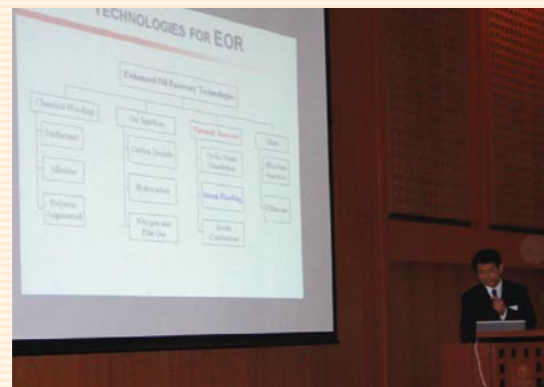
Hiroyuki Kono (Kyusyu Univ.), Akihiro Hamanaka (Kyusyu Univ.), H.T.B.M. Petrus, Kyushu University (Kyusyu Univ.), Harrison Gedikile (Kyusyu Univ.), Mohamed Abdel, Kyushu University (Kyusyu Univ.), Takuya Nomoto (Kyusyu Univ.), Kazuya Yokohata, Kyushu University (Kyusyu Univ.), Muhammad Zikra (Kyusyu Univ.), Mohamad Nur Heriawan (ITB), Bingwei Tian (Kumamoto Univ.), Minami Kataoka (Kumamoto Univ.), Ngoc Nguyen Anh (Tohoku Univ.)



▲B. ALTANTUYA博士(Mongolian University of Science and Technology, MONGOLIA)による講演
“Study of Technological Possibilities for Utilizing Coal and Minerals”



▲Rudy Sayoga GAUTAMA博士(Institute Technology of Bandung, INDONESIA)による講演
“Towards the Green Mining in Indonesia”



▲Kreangkrai MANEINTR博士(King Mongkut's University of Technology North Bangkok, THAILAND)による講演, “Effect of Parameters on Viscosities of Heavy Oil and Its Emulsions”



▲Kevin H. GARDNER博士(The University of New Hampshire, USA)によるプレナリーレクチャー
“Life Cycle Assessment of Recycled Materials”

01

3rd G-COE International Workshop on Energy and Environment in Chemical Engineering

日時: 2010年5月31日

場所: 九州大学鉄鋼リサーチセンター

九州大学工学研究院 深井 潤

「第3回 化学工学におけるエネルギーと環境に関するグローバルCOE国際ワークショップ」が平成22年5月31日に、九州大学鉄鋼リサーチセンターにて開催されました。本ワークショップは九州大学と嶺南大学(ヨンナム大学、韓国)との共催行事です。双方4件ずつ合計8件の講演があり、参加者は一般、学生合わせて84名ありました。会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりです。質疑応答も活発なものでした。

Prof. J. Fukai(九州大学)による開会宣言の後、二つのセッションが行われました。

最初のセッションでは、Prof. M. Lee(ヨンナム大学)が、ヨンナム大学を紹介した後、プロセスコントロールの最適化に関する講演を行いました。続いてProf. M. Kishida(九州大学)が金属触媒のシリカ被覆に関する講演を行いました。Prof. J. J. Shim(ヨンナム大学)は、超臨界液体とイオン液体を利用した材料合成に関する講演を、Prof.

N. Kimura(九州大学)は、化学プラントにおける熱交換器ネットワークの最適化に関する講演を行いました。

続いてのセッションでは、Prof. J. Lee(ヨンナム大学)が細胞間情報伝達機構によるバイオフィルム及び病原性、これらを用いた応用に関する講演を行いました。Prof. Y.

Miura(九州大学)は、糖類を利用した生体材料創製に関する講演を、Prof. W. K. Kim(ヨンナム大学)は、銅、インジウム、ガリウム、セレンから成る太陽電池に関する講演を、Prof. G. Inoue(九州大学)は、固体高分子形燃料電池および多孔質構造の輸送現象に関する講演を行いました。

講演一覧

【講演】

Moonyong Lee (韓国 ヨンナム大学)

“Constrained optimal control using a conventional PID controller: control like a MPC”

岸田 昌浩 (九州大学)

“Effects of silica-coating of metal catalysts on catalytic behavior”

Jae-Jin Shim (韓国 ヨンナム大学)

“Clean synthesis using supercritical fluids and ionic liquids”

Naoki Kimura (九州大学)

“A design and optimization mechanism of heat exchanger networks using multiagent framework”

Jintae Lee (韓国 ヨンナム大学)

“Bacterial communication, biofilm and virulence”

三浦 佳子 (九州大学)

“Sugar carrying polymers for biomaterials”

Woo Kyoung Kim (韓国 ヨンナム大学)

“Ga distribution in Ga(InGa)Se: thin film solar cell absorber”

井上 元 (九州大学)

“Mass transport phenomena in PEFC and porous structure design”

〈講演会の様子〉



▲Prof. J. Fukai(九州大学)による開会挨拶



▲講演中のProf. M. Lee(ヨンナム大学)



▲質疑応答



▲講演の様子